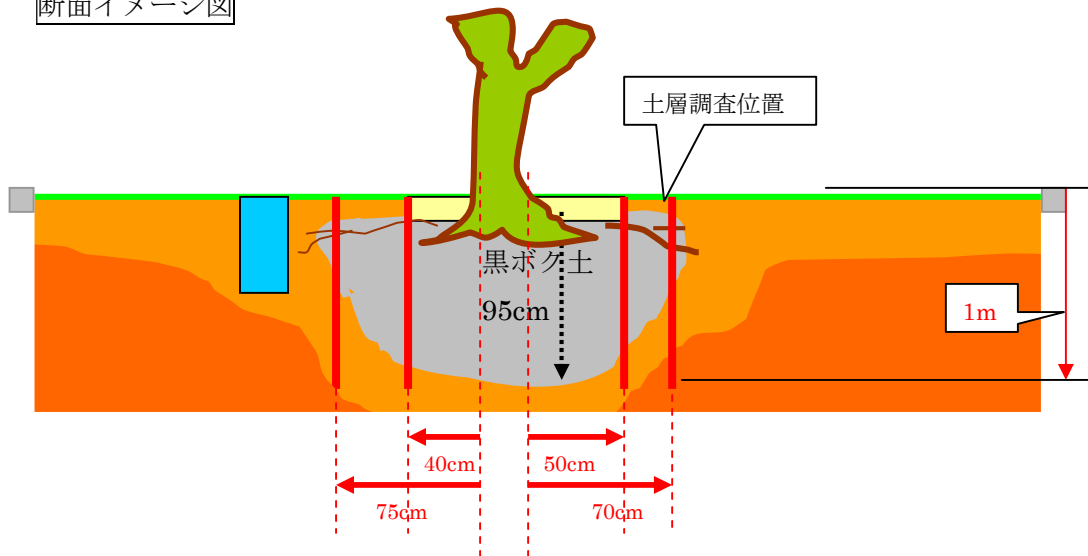
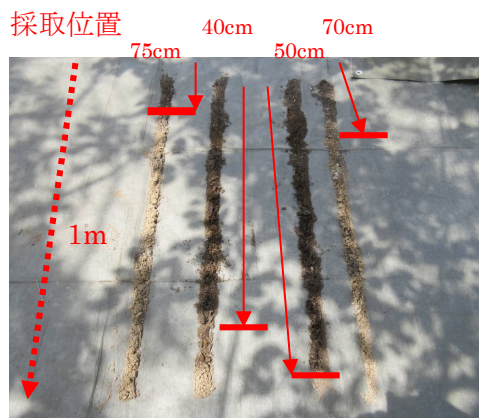


断面イメージ図



深さ 1m まで土層採取調査の結果、根鉢(黒ぼく土)の範囲が判明しました。根鉢(黒ボク土)は、幹の根元から東西方向とも約 70cm、深さは表土から約 95cm と思われます。盛り土がされているので 10cm~15cm 程度は誤差があります。今回の、土層調査の目的は、植樹の底に水が滞留して、底根の部分が無酸素土(グライ土)になっていないかの確認でしたが、根鉢の下、1m 地点の真砂土はグライ化していませんでした。(独特の異臭もしていません) よって、調査の範囲では、枯れ下がりの原因は滞留水による根腐れによるものではないと判明しました。



黒い色が黒ボク土



深部 1m の真砂土はグライ化していない

しかし、今後、真砂土特有の経年硬化による「締め固まり」現象により、滞留水の発生も皆無ではありません。中長期にわたり樹体を健全に維持するためには、地表面から底面に雨水(酸素)を誘導する処置(酸素管や割竹通気通水管を埋設すること)も必要かと思われます。(割竹埋設工法は添付資料 5 を参照下さい。)